

氏名	所属	職位	学位
尾上 恵子	修文大学短期大学部 生活文化学科	教授	修士(心理学)
資 格			
主 な 著 書 ・ 原 著 論 文			
年 度	タイトル (出版元又は掲載誌)		
平成 16 年度	幼児および保護者の視点からみた理想的な保育者像に関する検討 尾上恵子・石川隆行・鳥田直哉 保育士養成研究第 21 号, p. 85-p. 93.		
平成 18 年度	心理学概論 山内弘継ほか ナカニシヤ出版 p. 366-p. 367.		
平成 18 年度	感情研究の最前線 北村英哉ほか ナカニシヤ出版 p. 211-p. 221.		
平成 20 年度	他者への感情の社会的共有と感情回復に関する調査 一宮女子短期大学紀要第 47 集, p. 51-p. 59.		
平成 21 年度	携帯メール使用を含む社会的スキルが大学生の友人満足感に及ぼす影響について 一宮女子短期大学紀要第 48 集, p. 39-p. 46.		
平成 22 年度	短大生の就職活動に及ぼす影響-不安、期待、原因帰属の側面から- 修文大学短期大学部紀要第 49 集, p. 21-p. 28.		
平成 23 年度	キャリア形成における短大生の意識調査 - 就職活動開始直後の予備的検討から - 修文大学短期大学部紀要第 50 集, p. 17-p. 26.		
平成 24 年度	悲しみ・罪悪感情の社会的共有時期が遅れる理由 修文大学短期大学部紀要第 51 集, p. 25-p. 32.		
平成 25 年度	短大生の学習への動機づけと学業成績の関連に関する検討 修文大学短期大学部紀要第 52 集, p. 1-p. 9.		
平成 26 年度	短大生活の満足度に及ぼす影響について 修文大学短期大学部紀要第 53 集, p. 35-p. 44.		
平成 26 年度	言葉にして語ってごらんなさい-筆記療法の基礎- 余語真夫・尾上恵子・藤原修治 同志社心理第 61 号, p. 1-p. 17.		
平成 27 年度	短大への進学動機と短大生活の関連性について 修文大学短期大学部紀要第 54 集, p. 9-p. 18.		
平成 28 年度	短期大学生のメンタルヘルス意識と学校への適応感について 修文大学短期大学部紀要第 55 集, p. 9-p. 18.		
平成 29 年度	短期大学生の生活習慣と学習意欲、学校適応の関連性について 修文大学短期大学部紀要第 56 集, p. 19-p. 18.		
平成 30 年度	インターンシップが及ぼす教育効果に関する意識調査 修文大学短期大学部紀要第 57 集, p. 47-p. 57.		
令和元年度	放射線リスクに係る専門家の「レギュラトリーサイエンスと ALARA 概念」に対する半構造化面接調査結果 (共著) 修文大学短期大学部紀要第 58 集, p. 31-p. 46. 学業に対する価値、動機づけと目標指向の関連性について 修文大学短期大学部紀要		

令和2年度	第58集, p. 47-p. 54. 新型コロナウイルス流行に伴う大学生活の変化と精神的健康について 修文大学短期大学部紀要第59集, p. 33-p. 43.
令和3年度	新型コロナウイルス感染流行に伴う不安が大学生の人間関係に与える影響について 修文大学短期大学部紀要第60集, p. 37-p. 46.
令和4年度	大学生のファン心理と充実感の関係について 修文大学短期大学部紀要第61集, p. 33-p. 42.
令和5年度	大学生におけるSDGsへの意識・取り組みの現状と心理的影響に関する調査 修文大学短期大学部紀要第62集, p. 19-p. 28.
<b>所属学会</b>	
日本心理学会・日本感情心理学会・日本健康心理学会・日本ビジネス実務学会・関西心理学会 日本発達心理学会・日本ヒューマンリレーション研究学会	
<b>主な社会的活動</b>	
年 度	活 動 内 容
平成17年度	市民大学公開講座 (一宮市教育委員会主催)
平成22年度	市民大学公開講座 (一宮市教育委員会主催)
平成23年度	一宮市生涯学習課 成人教養講座
平成24年度	FMいちのみや番組審議委員 (～現在に至る)
平成27年度	市民大学公開講座 (一宮市教育委員会主催)
令和元年度	一宮市市民活動支援制度審査会委員 (～令和2年度)
令和3年度	一宮市市民活動サポート補助金審査会委員 (～現在に至る) 岩倉市シニア大学教養講座 (岩倉市教育委員会主催)
令和4年度	岩倉市シニア大学教養講座 (岩倉市教育委員会主催) 一宮市市民活動支援センター運營業務受託者選定委員会委員
令和5年度	岩倉市シニア大学教養講座 (岩倉市教育委員会主催)